



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月13日

上場会社名 トレーディア株式会社

上場取引所 東

コード番号 9365 URL

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 古郡 勝英

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務本部長代理 (氏名) 茨木 信弘

TEL 078-391-7170

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	14,484	3.3	11	89.4	90	54.9	51	69.8
2019年3月期	14,974	7.0	104	13.7	199	6.8	169	14.2

(注) 包括利益 2020年3月期 207百万円 ( 297.9%) 2019年3月期 104百万円 ( 57.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	34.81		1.9	1.0	0.1
2019年3月期	115.45		6.2	2.2	0.7

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 11百万円 2019年3月期 15百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	8,465	2,573	30.4	1,756.53
2019年3月期	9,208	2,757	29.9	1,881.96

(参考) 自己資本 2020年3月期 2,573百万円 2019年3月期 2,757百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	184	113	280	549
2019年3月期	355	216	232	759

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期				30.00	30.00	43	26.0	1.6
2020年3月期				30.00	30.00	43	86.2	1.6
2021年3月期(予想)				30.00	30.00		79.9	

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,500	0.1	20	79.4	95	5.5	55	7.8	37.54

(注) 当社グループは業績管理を主として年度単位で行っていることから、2021年3月期より第2四半期業績見通しの開示を省略することとしました。

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	1,470,000 株	2019年3月期	1,470,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	4,864 株	2019年3月期	4,864 株
期中平均株式数	2020年3月期	1,465,136 株	2019年3月期	1,465,203 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	14,484	3.2	10	89.6	84	53.7	45	69.9
2019年3月期	14,970	7.0	102	6.0	182	8.3	152	43.1

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	31.28	
2019年3月期	103.82	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	8,157	2,325	28.5	1,585.91
2019年3月期	8,983	2,483	27.6	1,693.81

(参考) 自己資本 2020年3月期 2,325百万円 2019年3月期 2,483百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている事業見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や堅調な設備投資の下支えにより、米中間の貿易摩擦の深刻化などによる世界経済の不確実性や消費税増税後の消費落ち込みがあったものの、緩やかな景気回復が続きました。しかしながら、年明け以降は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により景況感は大幅に悪化しており、さらなる景気下振れが懸念される非常に厳しい状況で推移しています。

港湾物流業界におきましては、事業者間の競争激化を背景に、企業間の価格競争や受注競争はまだ厳しく、ユーザーの物流の効率化、コスト削減要請は企業収益を圧迫しており、また、今後は新型コロナウイルス感染症による世界的な需要喪失による世界経済低迷の長期化が懸念されます。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (輸出部門)

輸出部門におきましては、機械機器製品及び食料品が減少したことにより、輸出部門の売上高は11.0%減（前年同期比）の28億90百万円余、セグメント損失は71百万円余（前年同期間はセグメント利益75百万円余）の計上となりました。

#### (輸入部門)

輸入部門におきましては、雑貨は前年並みに推移しましたが、繊維製品が減少したことにより、輸入部門の売上高は3.5%減（前年同期比）の54億43百万円余、セグメント損失は19百万円余（前年同期間はセグメント損失89百万円余）の計上となりました。

#### (国際部門)

国際部門におきましては、輸出は、台湾、中国及びインド向けが堅調に推移しましたが、欧州、東南アジア向け及びアジア発北米向けの第三国積取扱いが減少し、輸出全体では対前年同期間で微減となりました。輸入は、中国全般の取扱いが減少しましたが、ベトナム及び東南アジアの取扱いが増加し、輸入全体では微増となった結果、国際部門の売上高は1.0%増（前年同期比）の59億40百万円余、セグメント利益は29百万円余（前年同期間はセグメント利益54百万円余）の計上となりました。

#### (その他)

倉庫業、船内荷役、港湾関連の売上高は2億12百万円余の計上となりました。倉庫業については一部倉庫賃料改定により増収となりセグメント利益は59百万円余を計上し、船内荷役は取扱い量が減少し11百万円余を計上、結果、港湾関連を含めたセグメント利益は71百万円余（前年同期間はセグメント利益63百万円余）の計上となりました。

(注) 上記のセグメントの営業収入には、セグメント間の内部営業収入2百万円余を含んでおります。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前連結会計年度に比べ5億18百万円余減少し、27億63百万円余となりました。これは主に受取手形及び売掛金が2億89百万円余減少、現金及び預金が2億10百万円余減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度に比べ2億24百万円余減少し、57億1百万円余となりました。これは主に投資有価証券が2億28百万円余減少したことなどによります。

この結果、総資産は前連結会計年度に比べ7億42百万円余減少し、84億65百万円余となりました。

流動負債は、前連結会計年度に比べ4億34百万円余減少し、32億36百万円余となりました。これは主に支払手形及び営業未払金が3億24百万円余減少、短期借入金が33百万円余減少、未払法人税等が29百万円余減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度に比べ1億24百万円余減少し、26億55百万円余となりました。これは主に退職給付に係る負債が90百万円余増加しましたが、繰延税金負債が48百万円余減少、長期借入金が1億66百万円余減少したことなどによります。

この結果、負債合計は前連結会計年度に比べ5億58百万円余減少し、58億91百万円余となりました。

純資産合計は、前連結会計年度に比べ1億83百万円余減少し、25億73百万円余となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が1億60百万円余減少したことなどによります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、5億49百万円余となり、前連結会計年度末より2億10百万円余の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の営業活動による資金は1億84百万円余の増加（前連結会計年度3億55百万円余増加）となっております。これは、主に法人税等の支払額64百万円余ありますが、税金等調整前当期純利益80百万円余、減価償却費2億16百万円余、によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の投資活動による資金は1億13百万円余の減少（前連結会計年度2億16百万円余減少）となっております。これは、主に有形・無形固定資産の取得による支出99百万円余によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の財務活動による資金は2億80百万円余の減少（前連結会計年度2億32百万円余減少）となっております。これは、主に長期借入金の返済による支出1億66百万円余、配当金の支払額43百万円余によるものであります。

### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大と長期化懸念により、日本経済は悪化の一途をたどっており、リーマン・ショック時を上回る打撃を受ける可能性があります。また、収束に向けた期間が長期化する懸念もあり、今後の経済情勢は予断を許さない状況で推移するものと考えております。顧客の物流コスト削減要請に伴う業者間の価格競争激化に加え、今後は感染症の影響を受け、世界的なサプライチェーンの枠組みに堅持されていた生産構造のグローバル化とそれに伴う国際物流の潮流が変わり、物流構造が変革を迫られるなど当社グループを取り巻く事業環境の厳しさは持続し増大するものと思われま。

このような状況下、景気の動向や経営環境の変化に柔軟かつ迅速に対応し、継続的に安定した収益を確保できる基盤を確立するため、海外拠点の充実強化によるサービスの提供と売上高の拡大に努める一方、基幹港湾物流施設を有効利用し安定的な収益源の確保と付加価値貨物の取込みにより物的経営資源の収益性の向上を図ります。働き方改革を推進し、人的経営資源を収益性に基づき集中することにより労働生産性を向上させ、ITを積極的に活用し合理化による固定費削減に取組み、業績の向上を目指してまいります。

次期（2021年3月期）の業績見通しについては、売上高145億円、営業利益20百万円、経常利益95百万円、当期純利益55百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、国内の同業他社の国際会計基準の適用動向を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	759,548	549,339
受取手形及び売掛金	1,709,652	1,420,031
立替金	720,556	673,257
その他	97,072	121,528
貸倒引当金	△4,549	△220
流動資産合計	3,282,281	2,763,937
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,136,256	7,176,898
減価償却累計額	△5,821,931	△5,917,141
建物及び構築物 (純額)	1,314,325	1,259,757
機械装置及び運搬具	575,228	585,286
減価償却累計額	△523,870	△544,915
機械装置及び運搬具 (純額)	51,357	40,370
工具、器具及び備品	89,516	87,945
減価償却累計額	△83,952	△81,802
工具、器具及び備品 (純額)	5,563	6,142
土地	1,781,656	1,781,656
リース資産	235,424	264,588
減価償却累計額	△72,466	△104,634
リース資産 (純額)	162,957	159,954
有形固定資産合計	3,315,861	3,247,880
無形固定資産		
借地権	34,560	34,560
その他	67,989	31,682
無形固定資産合計	102,549	66,243
投資その他の資産		
投資有価証券	1,183,601	955,094
差入保証金	804,221	793,117
繰延税金資産	-	47,468
その他	528,121	600,807
貸倒引当金	△8,386	△8,992
投資その他の資産合計	2,507,557	2,387,495
固定資産合計	5,925,969	5,701,619
資産合計	9,208,250	8,465,557

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,386,893	1,062,123
短期借入金	1,666,139	1,632,809
リース債務	52,706	60,831
未払法人税等	43,258	13,721
賞与引当金	210,738	201,864
その他	311,748	265,389
流動負債合計	3,671,483	3,236,740
固定負債		
長期借入金	2,492,767	2,326,628
リース債務	137,962	136,223
長期末払金	313	-
繰延税金負債	48,034	-
役員退職慰労引当金	54,030	55,542
退職給付に係る負債	33,212	123,748
その他	13,110	13,110
固定負債合計	2,779,430	2,655,252
負債合計	6,450,913	5,891,992
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,000	735,000
資本剰余金	170,427	170,427
利益剰余金	1,606,248	1,681,003
自己株式	△10,249	△10,249
株主資本合計	2,501,426	2,576,181
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	201,055	40,953
為替換算調整勘定	-	△1,970
退職給付に係る調整累計額	54,854	△41,599
その他の包括利益累計額合計	255,910	△2,617
純資産合計	2,757,336	2,573,564
負債純資産合計	9,208,250	8,465,557

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業収入	14,974,216	14,484,567
営業費用	14,003,969	13,661,919
営業総利益	970,246	822,647
一般管理費	865,419	811,501
営業利益	104,826	11,146
営業外収益		
受取利息及び配当金	68,197	60,666
持分法による投資利益	15,478	11,497
その他	82,015	71,618
営業外収益合計	165,691	143,781
営業外費用		
支払利息	64,792	62,171
その他	6,020	2,747
営業外費用合計	70,812	64,919
経常利益	199,705	90,008
特別利益		
固定資産処分益	789	-
投資有価証券売却益	0	-
受取補償金	45,000	-
特別利益合計	45,790	-
特別損失		
固定資産除売却損	455	686
投資有価証券評価損	-	9,011
特別損失合計	455	9,698
税金等調整前当期純利益	245,040	80,309
法人税、住民税及び事業税	75,588	11,679
法人税等調整額	283	17,617
法人税等合計	75,871	29,297
当期純利益	169,168	51,012
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	169,168	51,012

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	169,168	51,012
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73,001	△160,102
退職給付に係る調整額	8,678	△96,454
持分法適用会社に対する持分相当額	-	△1,970
その他の包括利益合計	△64,322	△258,527
包括利益	104,846	△207,514
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	104,846	△207,514
非支配株主に係る包括利益	-	-

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算調 整勘定	退職給付 に係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	735,000	170,427	1,481,076	△9,958	2,376,545	274,056	—	46,175	320,232	2,696,778
当期変動額										
剰余金の配当			△43,996		△43,996					△43,996
親会社株主に帰属 する当期純利益			169,168		169,168					169,168
自己株式の取得				△291	△291					△291
持分法の適用範囲 の変動										
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)						△73,001		8,678	△64,322	△64,322
当期変動額合計	—	—	125,172	△291	124,881	△73,001		8,678	△64,322	60,558
当期末残高	735,000	170,427	1,606,248	△10,249	2,501,426	201,055	—	54,854	255,910	2,757,336

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	為替換算調 整勘定	退職給付 に係る調整 累計額	その他の 包括利益 累計額合計	
当期首残高	735,000	170,427	1,606,248	△10,249	2,501,426	201,055	—	54,854	255,910	2,757,336
当期変動額										
剰余金の配当			△43,990		△43,990					△43,990
親会社株主に帰属 する当期純利益			51,012		51,012					51,012
自己株式の取得										
持分法の適用範囲 の変動			67,733		67,733		770		770	68,503
株主資本以外の項目 の当期変動額 (純額)						△160,102	△2,740	△96,454	△259,297	△259,297
当期変動額合計	—	—	74,754	—	74,754	△160,102	△1,970	△96,454	△258,527	△183,772
当期末残高	735,000	170,427	1,681,003	△10,249	2,576,181	40,953	△1,970	△41,599	△2,617	2,573,564

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	245,040	80,309
減価償却費	221,196	216,690
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△6,734	△48,446
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△697	△3,723
受取利息及び受取配当金	△68,197	△60,666
支払利息	64,792	62,171
持分法による投資損益 (△は益)	△15,478	△11,497
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△334	686
その他の損益 (△は益)	△5,363	△242
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,028	△8,874
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	-
投資有価証券評価損益 (△は益)	-	9,011
営業債権の増減額 (△は増加)	△37,277	289,014
その他の資産の増減額 (△は増加)	15,275	47,440
営業債務の増減額 (△は減少)	69,253	△324,769
その他の負債の増減額 (△は減少)	8,778	△11,645
小計	491,281	235,459
利息及び配当金の受取額	68,202	67,070
利息の支払額	△74,574	△53,722
法人税等の支払額	△129,786	△64,713
営業活動によるキャッシュ・フロー	355,123	184,093
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△132,431	△60,125
有形固定資産の売却による収入	790	392
無形固定資産の取得による支出	△44,384	△39,534
投資有価証券の取得による支出	△3,817	△3,857
投資有価証券の売却による収入	0	-
貸付けによる支出	△50,000	△90,000
貸付金の回収による収入	7,200	81,700
その他の収入	29,414	13,918
その他の支出	△23,343	△15,889
投資活動によるキャッシュ・フロー	△216,572	△113,397
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△291	-
短期借入金の純増減額 (△は減少)	20,000	△33,330
長期借入金の返済による支出	△166,139	△166,139
配当金の支払額	△43,996	△43,990
その他の支出	△42,114	△37,445
財務活動によるキャッシュ・フロー	△232,540	△280,905
現金及び現金同等物に係る換算差額	-	-
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△93,990	△210,208
現金及び現金同等物の期首残高	853,539	759,548
現金及び現金同等物の期末残高	759,548	549,339

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、港湾運送事業、国際輸送事業を中心に事業活動を展開しております。なお、輸出、輸入、国際の3つの部門を基本として組織が構成されており、各部門単位で、戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は、「輸出」、「輸入」及び「国際」の3つの報告セグメントとしております。

「輸出」「輸入」は、荷主(輸出入貿易業者)から委託を受け、港湾において貨物の船積み、陸揚げ、荷捌き、通関手続きの業務等を行っております。「国際」は、海外各国の業者と業務提携を行い、日本と諸外国間外航海運の利用運送を行うとともに諸外国の内陸運送、通関を含むドア・ツー・ドアの輸送を一貫して行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額 (注)2
	輸出	輸入	国際	計				
営業収入								
外部顧客への売上高	3,247,798	5,638,416	5,882,020	14,768,234	205,981	14,974,216	—	14,974,216
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	6,123	6,123	△6,123	—
計	3,247,798	5,638,416	5,882,020	14,768,234	212,105	14,980,339	△6,123	14,974,216
セグメント利益又は損失(△)	75,196	△89,083	54,907	41,020	63,806	104,826	—	104,826
その他の項目								
減価償却費	90,045	102,231	28,919	221,196	—	221,196	—	221,196
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	82,957	94,183	26,642	203,784	—	203,784	—	203,784

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業、船内荷役、港湾関連及びその他の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計は、連結損益計算書の営業利益であります。

3. セグメントの資産、負債の金額は、当社の最高意思決定機関においてセグメント別に定期的に提供・使用していない為に記載していません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額	連結 財務諸表 計上額 (注)2
	輸出	輸入	国際	計				
営業収入								
外部顧客への売上高	2,890,944	5,443,732	5,940,241	14,274,919	209,648	14,484,567	—	14,484,567
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	2,400	2,400	△2,400	—
計	2,890,944	5,443,732	5,940,241	14,274,919	212,048	14,486,967	△2,400	14,484,567
セグメント利益又は損失(△)	△71,261	△19,064	29,546	△60,780	71,926	11,146	—	11,146
その他の項目								
減価償却費	89,531	95,819	31,339	216,690	—	216,690	—	216,690
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	50,977	54,558	17,844	123,379	—	123,379	—	123,379

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、倉庫業、船内荷役、港湾関連及びその他の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計は、連結損益計算書の営業利益であります。

3. セグメントの資産、負債の金額は、当社の最高意思決定機関においてセグメント別に定期的に提供・使用していない為に記載していません

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,881.96円	1,756.53円
1株当たり当期純利益	115.45円	34.81円

(注) 1. 滞在株式調整後1株当たり当期純利益については、滞在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	2,757,336	2,573,564
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	2,757,336	2,573,564
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数(千株)	1,465	1,465

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	169,168	51,012
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	169,168	51,012
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,465	1,465

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。